

2019年2月5日開催
2019年3月期第3四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1 物流費、原材料費等のコストが上昇しているなかで、価格政策に対する考え方を教えてほしい。また、来期のコスト上昇はどのくらいを見込んでいるのか。

対応として、製造工程の自動化や商品スペックの見直し等を考えており、その中で価格政策も継続して検討しております。今期は当初計画に対して15億強のコストの悪化があり、来期は物流費を筆頭として今期以上に上昇のリスクがあるとみています。

Q2 今期第3四半期(3ヶ月)でポテトチップスが減収となったのは、生産キャパシティの問題なのか？ 今後は価格政策によって生産数量を減らしていく考えはあるのか？

ポテトチップスの工場稼働率はフル稼働に近い状況が続いています。前年同期は、原料馬鈴しょの歩留まりが例年より良いことが生産量に貢献し、高い売上水準を計上しました。当社は馬鈴しょ契約農家から全量買い取り契約での調達をしていることもあり、今後も生産数量を減らしていく考えはありません。

Q3 国内のポテトチップス以外のスナックの動向は？

好調なポテトチップスの影響を受け、それ以外のスナックの需要が落ちている面があります。しかしながら、国内スナック全体では増収となっており、スナック全体で来期以降も伸ばしていきたいと考えています。

Q4 国内フルグラの動向は？

国内のフルグラは第3四半期(3ヶ月)では売上の底打ちが見えてきたことにより、当社のグラノーラシェアが回復していますが、市場自体は伸び悩んでいます。現状のフレーバーやサイズ展開だけでなく、来期以降はバーなどの新たな形態の商品等によってカテゴリーを増やし、売上拡大を図っていきます。

Q5 北米の売上推移をどう見ているか？北米は売上が伸びれば利益も伸長するのか？

北米はオーガニックの Harvest Snaps の導入が計画に対して現在8割程度であり、今後も導入を進めていくことで売上を回復させていく方針です。利益面に関しては、コスト構造の改善は進んでおり、今後は売上を回復させて現状約5割程度の稼働率を上げることができれば、利益の伸長につながります。

Q6 中国のトレンドはどうか？中国の売上計画の下方修正はスナックによるものか？

中国向けフルグラの需要は好調で、当初計画から変更ありません。中国経済の減速リスクがあるため、来期以降も継続して大幅伸長となるかは、現時点では慎重に見ています。今期の中国の売上計画の修正はスナックの減収によるものです。

Q7 ポテトチップスとフルグラの足元の店頭価格が下がっているように見えるが、販売費をどのようにコントロールしていく考えなのか？

フルグラに関しては、需要の動向を見ながら効果的に販売費を投入していく必要がありますが、利益に大きく影響を与えるような値引きは抑制する方針です。国内のスナックについては、休売からの再開で非常に需要が強かった前期と比べると販売費率は上昇していますが、当初計画の範囲内でコントロールができています。

Q8 今期第4四半期は減収、減益の計画となっているが、減益の要因を教えてほしい。第3四半期から第4四半期で大きく悪化する要因はあるのか。

国内の原材料費および動力費などのコストが第3四半期以降上昇しており、第4四半期においてもこれらのコスト影響を織り込んでいます。

以上